

国労

蘇我運輸区分会ニュース

拡大分会長会議

7月21日（水）18時～ 地本会議室



意思統一の大事な場

竜崎分会長が所用のため、代理で鈴木書記長が出席しました。

コロナ禍で、組合行事もままならず、中々集まる機会もなくなりましたが、今回意思統一の場として開催されたことに感謝します。

井村委員長あいさつ

コロナを巡る社会情勢、全国大会の報告、エルダーが多数を占める組織状況の報告から将来的な展望を見据えた組織強化拡大の運動を展開していく。安全・サ

ービスの低下を一般市民にも知らせ、運動につなげたい。会社は赤字を理由とした攻撃で、定期昇給にも手をつけてき

た。皆さんの声をまとめて会社にぶつけていきたい・・・等のあいさつがありました。

議題

以下4点について、地本執行委員より報告と、運動提起がありました。

①夏季一時金獲得の取り組み総括について

コロナ禍で、労働者は精神的にも厳しい状況で働いていることに対して、こつこつ状況だからこそ会社は内部留保を切り崩してでも、我々の努力に報いるべきだ

と主張してきたが、会社は耳を貸さなかった。

②新たな会社施策の提案等について

会社の今年の目標は「黒字」で、なりふりかまわない経費節減という名目の合理化を行い、安全・サービスが低下している。

③組織強化・拡大の取り組みについて

④新型「コロナウイルス」対策について

③④に関しては、「本部闘争指示第32号」「千交第6号」をそれぞれ参照して下さい。(フライング)

会社の方向性を修正出来るのは組合だけだ！

で送信済み)

質疑・応答（議論）

①③④の提起に関して、7名の職場代表者が発言を行ないました。

当分会から

タブレットによる年休申請は色々問題があり、法的にどうなのか？また「柔軟な働き方改革」では、職場の若い社員が不満と不安を抱えている状況を報告し、どちらも反対の立場で改善を求めました。

その他（主だったもの）

コロナ禍で電車の窓の開け閉め、手すり等を拭くなどの仕事が増えた。窓の開閉も固いものがあり大変だ。

オリンピック関係の終夜運転が中止となったが、計画がはつきりせず、変更ばかりで要員関係の勤務が大変、下請け



は（計画の中止で）金銭的にも死活問題である。経費節減による長時間のタブレット使用で、

会社は「ドライアイに気をつけよう」と言っているが、端から矛盾していると思う。紙ベースでないと、色々（注意やチェックが）ぬけてしまう。マーカーでのチェックも出来ない・・・等々。これらの発言に対して、加藤書記長より集約があり、地本佐川執行委員の閉会あいさつで終わりました。